



IRPA Bulletin

For RP professionals, by RP Professionals



SEPTEMBER 2024

ISSUE #43



IRPA16の基調講演は、退役宇宙飛行士の **Norman Thagard** 氏が行った。



目次:

新旧会長メッセージ	- 2
数字で見る IRPA 16	- 4
IRPA YOUNG PROFESSIONAL 賞	- 5
モントリオール基金受給者	- 7
理事会メンバー	- 9

翻訳: 森下 祐樹、編集: 藤通 有希、監修: 佐々木 道也

この"IRPA 会報"の日本語訳は、IRPA の公式的な翻訳ではありません。そのため、IRPA はその正確性を保証するものではなく、またその解釈や使用がもたらすいかなる結果についても、一切責任を負いません。

Translated by Yuki Morishita, edited by Yuki Fujimichi and reviewed by Michiya Sasaki.

This Japanese translation of "IRPA Bulletin" is not an official IRPA translation; hence, IRPA does not guarantee its accuracy and accepts no responsibility for any consequences of its interpretation or use.

新会長によるメッセージ

CHRISTOPHER CLEMENT

2024-2028 IRPA 任期へようこそ： 放射線防護におけるグローバルな取り組みの強化

1965年にIRPAが設立されて以来、15回目の会長職を務めることになり、2024-2028年の任期で国際放射線防護学会（IRPA）の会長を務めることを大変光栄に思います。指導者の交代は新たな章を意味しますが、IRPAの中核的使命と執行理事会（EC）の献身は揺るぎなく一貫しています。今期ECが行う取り組みは、当然ながら前期の取り組みを土台とするものであり、継続性と進歩が保証されます。



IRPAの主な目的は、その定款に記載されている通り、世界中の放射線防護専門家が協力してこの分野を発展させるためのプラットフォームを提供することです。IRPAの最も重要な役割は、4年ごとに国際大会を開催することと、その間に開催される地域大会を支援することです。これらの貴重なイベントには常に多くの参加者が集まりますが、直接参加できない人々への配慮も忘れてはなりません。今期は、地理的・経済的制約に関係なく、すべての放射線防護専門家を参加させる革新的な方法を見つけることに重点を置きます。

IRPAは、68カ国にまたがる53のIRPA加盟学会（AS）の会員で構成される団体連合体です。これらの加盟学会とその会員がIRPAのバックボーンとなっています。IRPAの世界的な存在感にもかかわらず、特にアフリカや東南アジアなどの地域では、放射線防護の専門家の多くが、自国に活発な学会が存在しないことによる課題に直面しています。このようなギャップに対処することは、参加、専門能力開発、および協力のためのより包括的な機会を創出する努力をする上で優先事項です。今任期中、私は昨年副会長として立ち上げたイニシアチブを引き続き推進し、苦境に立たされている加盟学会を支援するとともに、IRPA会員をはじめとする世界中の放射線防護専門家が、これまで以上に実現可能な最新技術を活用しながら、ネットワークを構築し、協力し合う機会を創出していきます。特に、放射線防護の専門知識に対する需要が高まり続ける中、今期の重要な優先課題は、世界的な若手専門家や科学者の促進と支援です。

IRPAの加盟学会を支援し、世界中の専門家同士の連携を促進することで、放射線防護の専門家の現世代と次世代を強化し、この分野の世界規模での継続的な発展を確実なものにしていきます。

Christopher Clement

IRPA 会長 2024-2028



旧会長のブログ

BERNARD LE GUEN

IRPA の新会長に Christopher Clement 氏が就任しました。この機会に、この4年間の素晴らしい経験に関連する考えを、皆さんと共有したいと思います。

19,000人の会員を擁する IRPA は、電離放射線が使用されるあらゆる分野をカバーする、実にユニークな専門組織です。皆さんのために IRPA の立場を表明する機会を得たとき、私は謙虚に、責任と意志を持って、私たち全員に影響を与える分野で IRPA のあらゆる感性を表明しました。例えば、ICRP が提案した放射線防護の今後の発展に関する議論がそうでした。



これは力を与えるポジションだ！私たちは、耳を傾け、集まり、代表し、弁護し、提案し、励まし、他者と協力し、他者の視点を理解しなければなりません！そしてこのポジションのおかげで、私は多くの国で友好関係を築くことができました。

将来への準備、放射線防護分野の若手科学者や技術者の誘致、ICRP との今後の議論における役割、他の国際組織と連携して共通のイベントを開催することなどです。IRPA16 はすでに終了しましたが、私たちはすでに 2026 年の IRPA 地域大会の準備を始めています！

IRPA の歴史は長く、来年にはすでに 60 周年を迎えます。IRPA は今後も発展し続け、若い人たちを迎え入れることにこれまで以上に寛容になり、関連団体を結成できない国の放射線防護専門家たちに発言権を与えなければなりません。

プロフェッショナルの声を代弁することは良いスタートだが、自分たちの声を届けることはさらに良いことです！

ありがとうございました。

Bernard



数字で見る IRPA 16

塵も積もれば山となるで、皆が家に戻った今、COVID後の最初の大会の統計を見てみましょう。

Attendance:

- **1241 registered participants** attended,
- representing **70 countries**
- from all **6 populated continents**

Scientific Program:

IRPA16の43のセッション（6つのプレナリーパネルセッションと2つのラウンドテーブルを含む）では、57カ国から発表者が参加しました：

- **252 oral presentations** (not counting panel discussions) and
- **400 posters** (although 195 posters had to be withdrawn, often due to travel or visa issues)
- And **104 exhibitors** populated the Exhibition Hall



シーベルト賞受賞者
Maria del Rosario Perez

Notable attendees included:

- ゲストスピーカー：**Norman Thagard**（宇宙飛行士、ソユーズカプセルに乗った最初のアメリカ人。）
- シーベルト賞受賞者：**Maria del Rosario Perez** アルゼンチン及びWHO
- Young Professional Awardees
 - Gold: **Gabriel Dupont** (France)
 - Silver: **Riya Dey** (India)
 - Bronze: **Francesca Luoni** (Italy)

*これらの統計を集めてくれた *Renate Czarwinski* 氏に感謝します！



YOUNG PROFESSIONAL 賞

Gold: Gabriel Dupont (France)

Gabriel Dupont は、アトロンメトロロジー社で働く放射線防護の若手専門家です。ガブリエルは IRPA16 で「放射性線源を使用しない放射線サーベイメータおよび線量計の校正」というテーマで講演を行いました。

Silver: Riya Dey (India)



私の名前は Riya Dey、インド出身です。物理学を専攻し、学部と大学院を修了しました。その後、ムンバイのバーバ原子力研究センター（BARC）に科学職員として入所しました。BARC の保健物理部門に勤務しながら、原子力工学の修士号を取得しました。私の主な仕事は、遮蔽計算、検出器シミュレーション、地下水輸送モデリング、核反応シミュレーション、エアロゾルの輸送・沈着研究などです。

現在は Variable Energy Cyclotron Centre（VECC）に常駐し、放射線防護の研究に貢献しています。仕事と並行して博士号取得を目指しており、吸入された放射性粒子やガスが人間の呼吸器系内でどのような挙動を示すかについての理解を深め、最終的には線量測定モデルを改良して放射線安全プロトコルを改善することを目指しています。

仕事以外では、芸術に癒しとインスピレーションを見出している。絵画や写真で自分の創造性を表現し、つかの間の瞬間をとらえ、ときには雑誌に記事を書くこともあります。文化遺産を探索し、その歴史を紐解くことに大きな喜びを感じます。映画愛好家として、さまざまな言語やジャンルの映画やシリーズを観るのが好きです。外出するときにはいつも、人々を観察し、彼らのユニークなストーリーを学ぶのが好きです。



YOUNG PROFESSIONAL 賞

Bronze: Francesca Luoni (Italy)

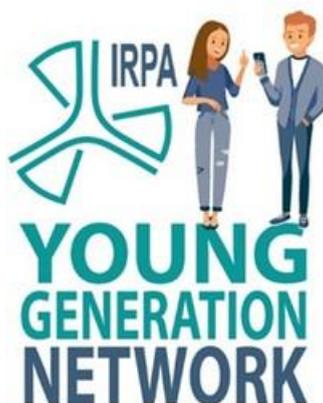
私の名前は **Francesca Luoni** で、もともとはイタリア人です。ミラノ工科大学で原子力工学を専攻しました。卒業後は幸運にも、ドイツの **GSI** 研究所で、宇宙における放射線防護に関する地上での実験的研究の分野で博士号（および博士研究員）の職を得ることができました。このおかげで、放射線に関する知識と宇宙への愛情を融合させることができました。

ドイツで合計 **6** 年間働いた後、フランスとスイスの国境に移り、現在は **CERN** のフェローとして働いています。ここでは、加速器施設の放射線防護に携わっています。

1 年半ほど宇宙放射線研究から離れていましたが、**NASA** ラングレーでポストドクを始めることになり、宇宙での放射線防護について再び研究することになりました。

自由時間には、できるだけ自然と触れ合い（惑星 **B** は存在しません！）、アウトドア活動やスポーツをするのが好きです。あらゆる形のアートが大好きです。そのため、アートギャラリーや展覧会、文化的なイベント、演劇などを楽しんでいます。これまでの私の積極的な関わり方は、主に科学のアウトリーチと即興演劇でした。

また、人間や人間の心理について学ぶことも大好きです。新しい文化や視点に興味があります。



モンテリオール基金受給者

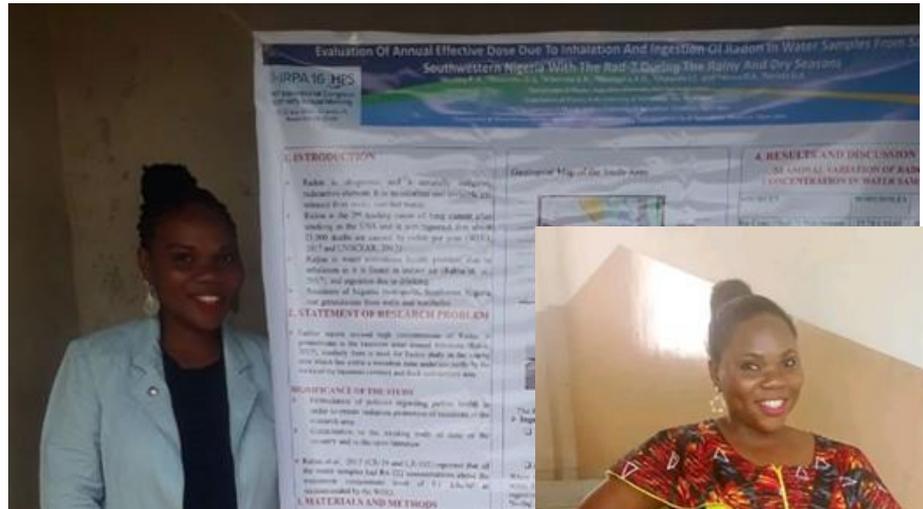
IRPA モンテリオール基金は、放射線防護の専門家が国際会議に参加するための旅費を援助するもので、今年\$30,000を寄付しました。今年のモンテリオール基金の寄付者の中には、IRPA 第16回大会の感想を書いてくださった方もいらっしゃいます。今年のご寄付は、モンテリオール基金残高の50%以上となりました。ご寄付をご希望の方は、モンテリオール基金のウェブページをご覧ください。

Pauline Ayoola Atanley (Nigeria)

私は、ナイジェリア、ラゴス、エペのイララにあるオーガスティン大学の若手研究者です。私が放射線防護を職業として選んだのは、最初の学位取得時に学んだ保健物理コースの理解と洞察によるものです。放射線防護分野の専門家と学び、出会い、協力し、博士研究員としての機会を得たいと思ったからです。ナイジェ

リアから大会に参加するための個人資金もスポンサー資金もなかったので、IRPA モンテリオール基金が私を助けてくれました。登録の時点で、登録料が払えなかったため、モンテリオール基金を知りました。私は、世界中の科学者や研究者とつながることができ、フレンドリーな参加者たちや、大会が開催された穏やかな環境をととても気に入りました。モン

テリオール基金は、キャリアの浅い科学者や発展途上国の科学者を支援する、称賛に値する素晴らしい基金です。モンテリオール基金の恩恵にあずかることができ、とても感謝しています。



Kofi Akyea-Larbi (Ghana)



私はガーナ原子力委員会の放射線防護研究所に勤務する若手研究科学者、放射線防護担当官、医学物理学者の Kofi Okyere Akyea-Larbi 博士です。私のセンターでは、職業被曝者に対する放射線防護トレーニングとコンサルティング、および職業被曝者 (OEW) のモニタリングを担当しています。職業被曝者の放射線防護トレーニング、放射線施設の安全評価、放射線機器の品質管理を行っています。

IRPA16 大会に参加した目的は、世界中の放射線防護の専門家と出会い、ネットワークを広げること、そして自分のキャリアアップに役立つ知識を得ることでした。



モンリオール基金受給者

IRPA モンリオール基金は、大会に参加するための旅費を援助してくれました。モンリオール基金については、IRPA のウェブサイトで見ました。

大会の中で、気に入った瞬間は、展示会、モンリオール基金の受給者との出会いと写真です。

モンリオール基金は、IRPA 大会への若い専門家の出席を支援することで、世界の放射線防護を向上させ、若い専門家は放射線防護の未来であるため、放射線防護コミュニティにとって非常に有益です。



前列左から IRPA President Christopher Clement, Joana Otoo (Ghana), Lonah Moraa (Kenya), Riya Dey (India), and IRPA Executive Officer Bernard Le Guen. Back row, left to right, Calvince Odeny (Kenya), International Congress Support Committee Chair Brent Rogers, and IRPA Financial Officer Sigurður M. Magnússon.



MEET YOUR 2024 - 2028 IRPA EXECUTIVE COUNCIL!

理事会は、IRPA の業務全般を管理する責任を負います。理事会は、総会を代表する 6 名の職権委員（役員）と、総会によって選出される 6 名の委員で構成されます。理事会メンバーの選出にあたっては、加盟学会の代表のバランスが保たれるよう配慮されます。



President
Christopher Clement



Vice-President
Ana Maria Bomben



Executive Officer
Bernard Le Guen



Treasurer
Sigourour Magnusson



Vice President, Congress Affairs
Eduardo Gallego



Communications Officer
Dave Niven



Executive Council Member
Joseph Amoako



Executive Council Member
Hielke Freerk Boersma



Executive Council Member
Claire-Louise Chapple
Executive Council Support



Executive Council Member
Cameron Jeffries



Executive Council Member
Kevin Nelson



Executive Council Member
Michiya Sasaki



IRPA 会長と IRPA 理事会の補佐
Sara Dumit

今後数回にわたり、IRPA 執行委員会の新メンバーにインタビューを行う予定ですので、ご期待ください！

SEND US YOUR NEWS!

共有するニュースをお持ちですか？
下記までお送りください：

cop@irpa.net

IRPA News と IRPA Bulletin でご紹介します。会報の記事は通常 200～300 字と画像です。

ソサエティ・スポットライトでは、加盟学会からの最新情報を随時募集しています。貴学会の近況をお知らせください。会合、会議、一般的なイベント、または良いニュースはいつでも歓迎します！

IRPA 出版委員会：

IRPA コミュニケーションオフィサー: Dave Niven

会報編集部: Andy Karam, Dave Niven

関連学会リエゾン: Michèle Légaré

ウェブサイト管理者: Dave Niven

ソーシャルメディアマネージャー: Sara Dumit & Dave Niven

素晴らしいニュースです！ PayPal を通じて、IRPA モントリオール基金に直接ご寄付いただけるようになりました！ 寄付のリンクは、IRPA ウェブサイトの[モントリオール基金のページ](#)をご覧ください。

